

広報



ごよがわら

発行所

五所川原市役所

459号

昭和54年11月15日

印刷 西北印刷

市の人口 男 25,601人
52,766人 女 27,165人

世帯数 14,391

(昭和54年10月1日現在) 住民基本台帳から



54年度の文化・市褒賞に5氏 文化の日に晴れて授賞式

【関連記事2・3面】

に文化褒賞 加藤、田中氏

市内羽野木沢字隈無
三八〇三
永年学校医をつとめ、児童・生徒の体位の向上と衛生思想の普及に尽力されました。
一方市議会議員として、地域住民の福祉の向上と、地方自治の振興に寄与しました。



文化褒賞

衛生思想の普及に尽力

阿部保信氏(六五)

内助功労章

ミキさん(五六)

婦人の地位向上 に貢献 永井かつ氏(78)

市内寺町二一
三十年余にわたる教員生活の傍ら茶華の道を極め、後進の指導につとめながら茶華道の普及と発展に寄与されました。
さらに永年にわたり地域婦人団体の要職にあつて、婦人の地位の向上に貢献されました。



昭和五十四年度の「市文化褒賞・市褒賞」の授賞式は、十一月三日・文化の日午前十時から産経会館五階ホールで行われ、永年にわたつて市の発展に尽された五氏を褒賞し、労をねぎらいました。
式では、君が代斉唱のあと寺田市長が、受賞者一人一人に記念品を添え

て褒賞状と勲章を手渡し、「受賞者の功績、努力は市民にとって大きな励みです。今日のおよき日を市民ともども分かち合いたい」と式辞を述べました。次いで山口市議会副議長、村上市表彰推薦委員会会長が、受賞者の功績をたたえてお祝いを述べ、

受賞おめでとう

受賞者を代表して阿部徹氏が「身に余る光栄です。今後も地域の発展に尽したい」と謝辞を述べ、全員で市民の歌「世紀の花を咲かそうよ」を斉唱して式を閉じました。
受賞者の夫人には、内助功労章が贈られました。以下に市文化褒賞・市褒賞の受賞者を紹介します。

行政管理庁では、当市住民の行政に関する苦情等の相談に応じ、その解決を手助けするため、次の方を「行政相談委員」に委嘱しております。

- 五所川原市大字姥菴字桜木
行政相談委員 坂本 甚作 (☎53048番)
- 五所川原市字柳町8
行政相談委員 成田 栄一 (☎43028番)

役所の仕事でお悩みの方は 行政相談委員へ

相談は、無料で口頭、電話、手紙のいずれの方法でもよく、相談を受けた行政相談委員は、秘密を守り親身にお世話することになっています。

相談の内容は、役所の仕事に関することであれば何でもよく、例えば、恩給、年金、登記、国税、保険、生活保護、環境衛生、農地、郵便、道路、交通、公営住宅、河川、公害、その他一般許認可、国鉄、電々、専売、公団、公庫、事業団等のことが対象になります。

(市内鳥森二一〜二三)

成田長右衛門さん

に委託し、徴収に当たらせておりますのでよろしく願います。

方は、引き続き申し込みを受けておりますので、市下水道課をご利用の指定金融機関で手続きをして下さい。

排水施設使用料

委託徴収員決まる

市では、水道料金の委託徴収員の変更に伴い、十一月一日(十月分)から排水施設使用料徴収業務を次の二人に委嘱いたします。

- 松島団地担当
長尾与広さん(市内松島町二丁目一二)
- 排水施設使用料を口座振替で納付される

阿部保、永井氏 市褒賞は阿部徹

市褒賞

教育行政の発展に尽力

阿部 徹氏(七二)



員長として地方教育行政の振興・発展に尽し、とくに県立東高等学校の創立に貢献されました。

内助功労章

菊野さん(六八)

地方自治の確立に貢献

加藤謙六氏(七七)



越した手腕を発揮され、農業経営の安定に寄与しました。

さらに戦後の荒廃した郷土再建を担い、松島村長を勤め村勢の進展と地方自治

の確立に貢献しました。

内助功労章

タキさん(七五)

市内羽野木沢字実吉

一六

林野の保護・育成に尽力されるとともに、その間七和村長を勤めて村勢の進展に寄与されました。

また青森県教育委員会委

市内漆川字袖掛

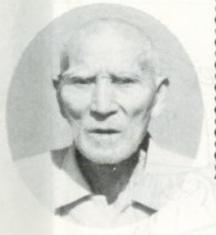
一〇二一

多年農業技術の指導に卓



福祉の向上に貢献

田中専之作氏(82)



市内高瀬字一本柳

一一八一

永年村議会議員・市議会議員をつとめ、地方自治の振興・発展に尽されました。地域にあつては常に指導的な役割を果たし、地域住民の福祉の向上に貢献されました。

内助功労章

そまさん(六六)

社会教育関係者多数の出席を望んでおります。

□とき 十一月二十七日(火) 午前九時三十分から

□ところ 鯉ヶ沢町

□申込み先

五所川原市字岩木町

一、市教育委員会・

社会教育課(☎⑤二一

一、番・内線二四九・

二五〇番)

大会当日、午前八時

西北五社会教育振興大会

山村開発センター(鯉ヶ沢町中央公民館隣り)

□昼食代 一人五百

円。

(申込みと同時に納入して下さい。)

□申込み締切り

十一月二十一日(水)

三十分は市民文化会館前から貸切りバスが出ますので、乗車される方は、申し込みの際お知らせ下さい。

なお、希望する分科会など詳しくは、当課へお問い合わせ下さい。

□参加対象者 農業者年金受給者・加入者及び家族。

□旅行費用 四十一万八千円。(食事、観光全て込み。)

□旅行期間 昭和五十五年二月十九日(火)〜三月一日(土)の十二日間。

□訪問都市 ローマ、ミュンヘン、チューリッヒ、パリ、ロンドン

□お申込み、お問

い合せ

青森市長島一丁目二番二号(郵便番号〇三〇)、青森県農業会館内、「青森県農業者年金協会(☎青森22-二五一番・内線二八六、二八七番)

詳しい資料は、当協会が用意してあります。

□トラベルロイン

六カ月〜二十四カ月の旅行費用分割払いもできます。

ねん学の旅

の3回

の旅行費用分割払い

節約は 日本の課題 我が家の課題

みんなでやろう 5%石油節約を

ものを大切にすれば、県民運動推進会議

灯油の供給を断わられたら

懸念される今冬の灯油供給について、先般県主催の市町村担当者会議が開かれ、席上「青森県灯油供給処理要領」が示され、各市町村ともこれに基づいて対応す

ることになりました。基本的な考え方として、消費者は、必要とする灯油の購入を自助努力によって業者に折衝し、断わられたら市の窓口(市商工観光課)

へ申し出て下さい。市では、苦情受けをした後、内容を調査のうえ供給が受けられるよう業者に要請することになっていま

みんなで考えよう 冬の省エネルギー



この冬の家庭での省エネルギーを進めるために、暖房用エネルギーの節約につながる工夫をしてみませんか。どのような小さなことで

も面倒がらずに、まず身の回りのことから始めましょう。たとえば、カーテンはなるべく厚手のものを使うのも「省エネ作戦」の一つで、さらに上部を天井まで伸ばしたり壁に密着させ、下は床にまでたらすと、部屋の暖かさが違ってきます。

また、すきま風は部屋の温度を下げるので、窓に目ばりをするのもよく、あるいは窓そのものを気密性の高いサッシに取り替えると部屋の「保温」に効果的です。ストーブについても、ふだん手入れを欠かさないと

とが大切です。ストーブのしんがそろっていないか、空気孔にほこりがついていると、エネルギー効率がよくないばかりか、不完全燃焼を起したりします。日ごろの点検を怠らないようにしましょう。

反射型のストーブの場合には、反射板をよくみがいておくとも熱効率がよくなりま

す。このほか、家庭でできる冬の省エネルギーについては、わたしたち一人ひとりが、まず身の回りに目を向けることから始めたいものです。

国民年金 特例納付に

世帯更正資金を貸付け

今回、国民年金の時効保険料を特例納付していただくために、自己資金だけでは納付が困難な方々に対し市社会福祉協議会から世帯更生資金が融資されることになりました。

特例納付による救済措置は、今回限りのせっかくの機会ですからご利用のうえ年金を受けられるようにして下さい。

- 貸付けの対象
加入の手続きをまだして
- 貸付けの内容
①貸付け限度額は、特例納付に必要な保険料の二分の一の額以内。(最高二十五万円まで)
- ②返済期間は、借入後六カ月据え置き、三年以内
- ③年利率は三%。(据え置き期間の六カ月は無利子)
- ④申し込みの際は、身元確実な連帯保証人が一人必要です。



買いためはバニックのもとですよ。

強調運動実施中

協力をお願いします

□強調期間

十一月一日～十二月二十八日

市では、市税の納期内完納、滞納市税の徴収に重点をおきながら納税者の納税意欲を高め、自主納税の理解を得るため市税完納強調期間を定めております。

□納付窓口

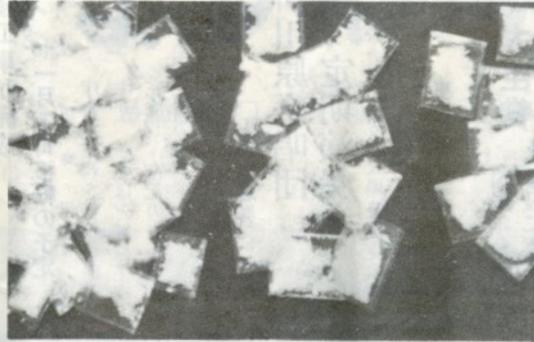
- 青森銀行五所川原支店
- みちのく銀行五所川原支店
- 津軽信用金庫五所川原支店
- 青森県信用組合五所川原支店
- 東奥信用金庫五所川原支店

- 北奥羽信用金庫七和支店
- 五所川原市農業協同組合本所
- 同梅沢支所
- 同長橋支所
- 同栄支所
- 同松島支所
- 同三好支所
- 同中川支所
- 同飯詰支所
- 同水野尾出張所

- 青森銀行五所川原支店
- みちのく銀行五所川原支店
- 津軽信用金庫五所川原支店
- 青森県信用組合五所川原支店
- 東奥信用金庫五所川原支店

- 中川村農業協同組合
- 七和農業協同組合
- 松島村第一農業協同組合
- 嘉瀬農業協同組合
- 昆沙門支所
- 市会計課

県民ぐるみで覚せい剤を追放しよう



県内の覚せい剤不正使用者をみると、ホステス、自動車運転者、青少年、主婦など年々底辺が拡大しつつあります。
覚せい剤がやみつきとなり、ついには幻覚症状をきたし、自殺や一家離散、あるいは重大事故の誘発など、悲惨な結果を招いている実

情です。
この「白い粉の恐怖」といわれる覚せい剤事件は、昭和五十三年中百四十三人が検挙され、県警始まって以来の検挙人員となり、本年は九月末現在すでに百八十八(五所川原警察署管内五十二人)を検挙し、昨年一年間を大幅に上回っています。

警察では、「暴力・覚せい剤追放」を重点目標のひとつに掲げ、取り締りを強化する一方、関係機関の協力を得て、本年八月に各地区大会(西北五地区は、八月八日、市民文化会館)を開催、九月十日には、弘前市で、「覚せい剤追放県民大会」を開催する等、あらゆる機会をとらえて県民に覚せい剤禍の危機感を訴えております。

ところで、覚せい剤がはびこる原因としては、次の二つをあげることが出来ます。
一 暴力団が覚せい剤の密売を最大の資金源と考え、販路の拡大をはかっていることです。

その主な密売の手段をあげると、例えば、
○主婦、ホステスには、「疲れがとれる」、「やせる」、「強精剤だ」
○自動車運転手、青少年

には「眠らずに仕事や勉強ができる」
など、ソフトムードで売り込み、使用者の拡大をはかっています。

二 買手側のホステス、自動車運転者、主婦らが、覚せい剤の恐しさについて全く無知であることです。
現在、県下あげて覚せい

剤の追放運動を展開しています。

ますが、市民の皆さん、皆さんの近くに、もしも、「亡国の粉」覚せい剤をやっている人がおりましたら、どうか勇気を出して警察にお知らせ下さい。
(五所川原警察署)

「年金移動相談所」を開設

弘前社会保険事務所では、次の日程で国民年金、厚生年金、船員保険の「年金移動相談所」を開設します。
ご利用下さい。

□開設時間 いずれも午前十時から午後二時三十分まで

□ところ 産経会館

□開設日 十一月二十七日(火)、十二月二十五日(火)、一月二十九日(火)

農業用免税軽油 申請を受け付け

□受け付け期日

十二月二十四日(月)、二十五日(火) (以上対象は五所川原市)

十二月二十六日(水)、二十七日(木) (以上は指定された日に申請できなかつた方)

□受け付け時間

午前八時三十分から午後四時三十分まで

簡保融資施設を見学

五所川原郵便局(相馬貞吉局長)は十月二十六日、

主婦らを招き、簡保保険の資金による市の施設や郵便業務の見学会を行いました。
見学会には、石畑の小野敬子さんから市民十五人が参加、局内で利用者から集めた資金の運用状況や手紙が配達されるまでの過程などの説明を受けました。

このあとバスで、簡保保険資金の融資で造られた新農業センター、学校、コミユニティセンター、さらに現在建設が進められている菊ヶ丘運動公園など市内の各施設を見て巡り、簡保保険に対する知識を深めました。



二月二十六日(火)、三月二十六日(水)

□受け付け場所

市内栄町一〇、五所川原県税事務所

(申請用紙は、当所、各農業協同組合及び軽油販売店にあります。)

由紀子さん(毘沙門出身)「ガラスのうさぎ」で主演

市内毘沙門出身、暇名良

治さんの長女由紀子さん(中学二年)が主演する「ガラスのうさぎ(橘祐典監督)」が、十一月二十五日(日)午前十時と午後一時の二回市民文化会館で上映されます。(入場料、当日小中高生六百円、大人千円)
東京大空襲下、灰色の街を一人けなげに生ぬく十二歳の少女を描く、国際児童年記念企画映画です。
ご観覧下さい。

街頭献血を実施

ご協力をお願いします

県の移動授血車「青い鳥号」が次の日程で街頭献血を行います。

○十二月六日(木)

午前十時三十分から正午まで、市庁舎お祭り広場前

午後一時三十分から三時まで、敷島町、西北中央病

ご協力下さい。

○十二月二十日(木)

院敷島分院前
午前十時三十分から正午まで、末広町、五所川原保健所前

午後一時三十分から三時まで、栄町、県合同庁舎前

保健所の補修工事が完成

十二月下旬移転の予定

五所川原保健所では七月上旬から庁舎の補修工事を

行い、現在新町・旧警察署庁舎で業務を行ってありますが、このほど補修工事が完成し、左記のとおり移転

□とき 十二月一日

ママさんコーラス

(土)午後六時三十分から

□入場整理券 二百円

第13回五所川原合唱団

定期演奏会

□ところ 市民文化会館ホール

□賛助出演 五所川原

なお、入場整理券の売り上げ金は、市の慈善事業に役立てます。

高橋さんに大臣賞

国民年金の普及に尽力

市内長富、高橋馨さん(七一)が十一月一日、東京・日比谷公会堂で開か

れた国民年金法施行二十周年記念式典で厚生大臣賞を受けました。



高橋さんは、三十七年四月から十七年一カ月間にわたり下長富国民年金納入組合長をつとめ、この間国民年金の普及と加入の促進に尽力したためです。



原さん 十五万円を寄付

市内大町の原太津美さんは十一月二日、亡くなった父潜竜さんの香典返しとして市教育振興会へ十万円を、また市社会福祉協議会へ五万円をそれぞれ寄付しました。

呼び出し灯寄贈

ライオンズクラブ

五所川原ライオンズクラブ(長谷川雄三会長)はこのほど、耳の不自由な方に役立てて下さいと、パトラ

イト(回転呼び出し灯)三個(四万八千円相当)を市福祉事務所に託しました。

写真左



拾ったお金を

図書館に寄付

松島町八丁目佐々木雅志さん(高校二年)はこのほど、六カ月前に拾って警察から交付された現金四千円を、図書購入費に充てて下さいと市立図書館に寄付しました。

除厄祈願祭実行委で

十二冊寄付

昭和五十四年除厄祈願祭実行委員会(佐藤喜彦委員長)はこのほど、さる二月十七日に行った除厄祈願祭の決算剰余金で市立図書館に図書十二冊(六万三千元相当)を寄贈しました。

税務署だより

十一月は所得税の予定納税第二期分の納税をする月です。六月に税務署からお知らせされた金額を十一月三十日までに納税しましょう。

ところで、十月三十一

所得税二期分の納期は十一月三十日まで

日の現況で、次のような事情で前年より所得が減少したり、控除が増えたために税務署から通知された税額より少なくなると見られるときは、予定納税額を減額する申請をすることが出来ます。

- 1 廃業、休業、失業など
- 2 地震、風水害、火災などの災害や盗難、横領などで財産に損害を受けたとき
- 3 納税者やその家族が病気で多額の医療費を支払ったとき
- 4 結婚や出生などで扶養家族が増えたとき

予定納税額を減額する申請をする人は、十一月十五日までに「予定納税額の減額申請書」を税務署に提出することになります。

お分りにならない点は、五所川原税務署へお問い合わせ下さい。

(五所川原税務署)

広報紙の早期配布にご協力下さい